「教育コミュニティづくり」の推進について

資料９

**＜教育コミュニティづくりとは＞**

　教育や子育てに関する課題を学校、家庭、地域の団体・グループ等が共有し、課題解決に向けた協働の取組を通じて、新たな人のつながりをつくり出していく仕組みや運動。

**＜教育コミュニティづくりの３つの活動＞**

【学校支援活動】

　教育活動の充実を図るために、学校の求めと地域の力をマッチングして様々な活動（授業等の学習支援、部活動の支援、図書の整理や花壇の整備、学校行事の運営支援、登下校時の安全見守り等）を行う。

【おおさか元気広場（放課後子ども教室）】

　　放課後や週末等に、子どもの安全で安心な活動場所を確保し、地域の参画・協力を得て、子どもの体験・交流活動及び学習活動等の機会を提供する。

【家庭教育支援】

　　対話や交流をとおして、親と子の関係や子育ての大切さについて学ぶ「親学習」の機会の提供。また、地域人材で構成される家庭教育支援チームが、子育てに課題を抱え地域から孤立しがちな家庭等を訪問し相談対応する「訪問型家庭教育支援」の実施。

**＜課題＞**

　市町村教育委員会に教育コミュニティづくりの課題を尋ねたところ、「地域人材の高齢化・固定化による人材不足への対応」が多く挙げられた。

**＜本日の協議題＞**

　　より多くの保護者や地域の方に、学校の教育活動や教育環境の整備、放課後の学習・体験活動等に参画していただくための方策について、ネットワークづくりを踏まえてご意見をいただきたい。